

知床世界自然遺産地域管理計画の見直しに係る参考

【参考 1】これまでの科学委員会や WG/AP での主なご意見

関連する事項	主なご意見
1) 全体方針に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・知床の価値を明確に示し、それをどのように維持管理していくか、という記載が重要。*2 ・モニタリングの実施、結果のフィードバック（改善）、管理の見直しといった順応的管理の考え方を明確化すべき。*1*6 ・IUCN からの指摘事項、指標の確立といった視点で、関連した記述を盛り込む。*4 ・管理計画であるため、生態系の記述よりも、肝心の管理の内容に係る記述を充実化。*1
2) 全体構成に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・目次構成（並び順）の再整理が必要。*1 ・他遺産の管理計画を参考にしつつ、根本的に構成を修正。*1 ・世界遺産の価値、現状、課題は項目立てを別にして記載すべき。*7
3) 管理の基準に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・管理の手法、管理の基準、管理のプロセスに関する記載が必要。*1 ・関連計画で掲げられている基本方針や管理方針に対する具体的な目標等は、遺産管理計画にも盛り込む。*1*4 ・科学委員会とその下部 WG/AP の位置づけ、それぞれの連携を記載。*4
4) 具体的な事項に関して	
・遺産価値	・ヒグマは陸域生態系と海域生態系を結ぶ重要なキーのひとつであることを記載*5
・モニタリング、調査研究	・地域住民や観光利用者との連携の観点も入れるべき。（アンケート調査や、実質シチズン・サイエンス的なシャチ調査などを考慮）*1
・外来種	・外来植物の繁茂は景観面で観光資源としての価値を毀損している点、そのような外来種に対するモニタリング等の監視の必要性等を記載。*2
・適正利用	<ul style="list-style-type: none"> ・利用のルールに関する地域との情報交換や観光利用者も含めた周知の重要性、地域の参加を得た連携協働について記載。*7*8 ・利用者の多様化という視点で、近年のインバウンド利用などを追記*2 ・利用の安全面について言及する必要性あり。*7 ・本遺産のブランディングと利用者への働きかけの視点であるマーケティングの両項目が必要。*2
・気候変動	・世界遺産委員会から勧告されている点も踏まえ、気候変動への順応的管理に関する記述を充実化。*1
5) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンや 30by30 など、近年の取組を追加。*2 ・30by30 や OECM の検討では少数民族の視点も重要となるため、現行計画には記述が少ないアイヌの視点も必要。*2 ・行政用語の羅列ではなく、コミュニケーションツールの一つとして、わかりやすい用語を用いる。*2

（ご意見に対応する会議名）

- *1：令和4年度第1回科学委員会（2022.9.5開催）
- *2：令和4年度第2回適正利用エコツーリズムWG（2022.10.27開催）
- *3：令和4年度第1回地域連絡会議（2022.11.22開催）
- *4：令和4年度第2回エゾシカWG（2022.11.30開催）
- *5：令和4年度第2回ヒグマWG（2022.12.15開催）
- *6：令和4年度第2回河川工作物AP（2023.1.26開催）
- *7：令和4年度第3回適正利用エコツーリズムWG（2023.2.1開催）
- *8：令和4年度第2回海域WG（2023.2.3開催）

【参考2】国内の世界自然遺産管理計画の構成

①知床

「知床世界自然遺産地域管理計画」 2009（平成21）年12月
1. はじめに
2. 目的
3. 遺産地域の概要 (1) 位置等 (2) 総説 (3) 自然環境 (4) 社会環境 (5) 遺産地域の保護制度等
4. 管理の基本方針 (1) 管理の目標 (2) 管理にあたって必要な視点
5. 管理の方策 (1) 陸上生態系及び自然環境の保全 (2) 海域の保全 (3) 海域と陸域の相互関係の保全 (4) 自然の適正な利用 (5) 遺産地域の管理に係る関係行政機関及び地元自治体の体制 (6) 保全・管理事業の実施 (7) 調査研究・モニタリング (8) 気候変動の影響への対応 (9) 年次報告書の作成 (10) 情報の共有と普及啓発
6. 計画の実施その他の事項 (1) 計画の実施等 (2) 地元自治体の取組 (3) 資金
7. おわりに

②屋久島

「屋久島世界遺産地域管理計画」 2012（平成24）年10月
1. はじめに
2. 目的
3. 遺産地域の概要 (1) 位置等 (2) 総説 (3) 自然環境 (4) 社会環境 (5) 遺産地域内における保護制度等
4. 管理の基本方針 (1) 管理の目標 (2) 管理の現状 (3) 管理に当たって必要な視点
5. 管理の方策 (1) 生態系と自然景観の保全 (2) 自然の適正な利用 (3) 関係行政機関の体制 (4) 調査研究・モニタリング及び巡視活動 (5) 地域との連携・協働 (6) 環境教育、情報の発信と普及啓発
6. 計画の実施その他の事項 (1) 計画の実施 (2) 計画の見直し (3) 資金
7. おわりに

③白神山地

「白神山地世界遺産地域管理計画」 2013（平成25）年10月
1. はじめに
2. 目的
3. 遺産地域の概要 (1) 総説 (2) 位置等 (3) 自然環境 (4) 社会環境
4. 管理の基本方針 (1) 管理の目標 (2) 管理体制 (3) 地域区分による管理
5. 管理の方策 (1) 生態系の保全 (2) 遺産地域の適正な利用 (3) 巡視活動 (4) 生態系の保全に配慮した施設整備・管理 (5) 環境教育、情報発信と普及啓発 (6) 調査研究・モニタリング (7) 関係行政機関及び地元市町村の体制
6. 計画の実施その他の事項 (1) 計画の実施 (2) 計画の見直し (3) 地元市町村の周辺地域における取組
7. おわりに

④小笠原

「世界自然遺産小笠原諸島管理計画」 2018（平成30）年3月
1. はじめに
2. 計画の基本的事項 (1) 管理計画策定の目的 (2) 管理計画の対象範囲 (3) 管理計画の期間 (4) 管理計画実行の考え方
3. 世界自然遺産小笠原諸島の概要 (1) 小笠原諸島の位置 (2) 総説 (3) 自然環境 (4) 社会環境 (5) 世界自然遺産小笠原諸島
4. 管理の基本理念と基本方針 (1) 基本理念 (2) 基本方針
5. 管理の方策 (1) 保護制度の適切な運用 (2) 新たな外来種の侵入・拡散防止 (3) 各種事業における環境配慮の徹底 (4) 自然と共生した島の暮らしの実現 (5) エコツーリズムの推進 (6) 継続的な調査と情報の管理 (7) 島ごとの対策の方向性
6. 管理の体制 (1) 管理機関の体制 (2) 科学的知見に基づく順応的管理体制 (3) 関係者の連携のための体制 (4) 国内外との連携
7. おわりに

⑤奄美琉球

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産推薦地包括的管理計画」 2018（平成30）年12月
1. はじめに
2. 計画の基本的事項 (1) 計画の目的 (2) 計画の対象範囲 (3) 計画の構成 (4) 計画の期間 (5) 計画の進捗管理及び見直し
3. 推薦地の概要 (1) 位置等 (2) 総説 (3) 自然環境 (4) 社会環境
4. 管理の目標 (1) 全体目標 (2) 地域区分別目標 (3) 地域参加型管理目標
5. 管理の基本方針 (1) 保護制度の適切な運用 (2) 外来種による影響の排除・低減 (3) 希少種への人為的影響の防止 (4) 北部訓練場の自然環境保全に関する米軍との協力 (5) 緩衝地帯等における産業との調和 (6) 適切な観光管理の実現 (7) 地域社会の参加・協働による保全管理 (8) 適切なモニタリングと情報の活用
6. 管理の実施体制 (1) 関係者の連携のための体制 (2) 科学的助言に基づく順応的な保全管理体制 (3) 情報発信と普及啓発 (4) 個別管理機関の役割
7. 地域別の行動計画の策定 (1) 地域別の行動計画の策定方法 (2) 地域別の行動計画
8. おわりに